

ロジパルエクス

ロジパルエクスプレス 構理事長賞を受賞した。

(馬場範夫社長、東京都葛飾区)は、エコドライブ活動に注力している。

燃費向上と事故防止を目的に、2003年から取り組みを開始した。04年に創設されたエコドライブコンテスト(環境省、環境再生保全機構主催)には第1回から毎年参加し、7年連続で受賞。07年には、船橋営業所(千葉県船橋市)が第2位に

相当する環境再生保全機

を達成し、17%も向上した。11年は5・44キロや落ち込んだものの、以前に比べ大型車が増えたことを考慮すると、十分に効果を上げている。

また、車両点検も重視。同社は「トラックが良好な状態で走行すれば、NOx(窒素酸化物)の排出量が減り、環境負荷の低減が可能。事故の削減にもつながる」として、運

行前や月次ベースなど定期的な点検を確実に行うよう指導している。更に、自社でドライバーコンテストを開催し、運転

エコドライブで毎年受賞

燃費17%改善、点検も重視

技術だけでなく点検技能の向上にも努めている。

このほか、環境対策としてCNG(圧縮天然ガス)車やバイオディーゼル燃料の導入を促進。エコタイヤの実証実験を茨木営業所(大阪府茨木市)で行い、効果があったことから、ほとんどの車両に採用した。ドライバー向けの研修会も、外部講師を招くなどして定期的に開いている。

今後の取り組みについては「エコドライブ活動を継続していく。一部ではアイドリング・ストップ支援機器を導入しており、今後も増やしていく方針」と、更なる活動強化に意欲をみせている。

(山上 隼人)



トラックで車両点検の技術を向上させ、環境負荷を低減する